

東日本大震災と 地方自治体の危機管理



東金市議会議員
水口 剛

歴史に学ぶ

1000年に1度と言われる東日本大震災、1000年前（正確には800～900年前）に我国古典の三大随筆の1つの鴨長明「方丈記」の記述が思い起こされます。「川の流れば絶えずして、しかももとの水にあらず」「地獄業の風」云々。大風、洪水、大地震、山は崩れ、海は傾き、地は裂けて水が湧きという「天変地異」

のリアルな描写。日本は古来から繰り返されてきた水害、地震などの自然災害に遭遇し立て直し生活、文化を育てる歴史を共有しています。その歴史から何を学ぶのか、先人から学ぶことの重要性を改めて教えられている感があります。

教訓をどう生かすか

岩手県「釜石の奇跡」（津波の高さ9.3メートル）、3,000名の小中学校の児童生徒が津波から逃れ、誰一人も犠牲を出さなかった（自宅にいた4人と迎えに来た保護者と自宅にもどった1人は犠牲）という状況。一人ひとり自分で考えて自分の命を救え「津波てんでんこ」が学校現場で話題になっています。他方、宮城県石巻（津波の高さ7.7メートル）大川小学校では児童生徒70%、74名が犠牲となったと報じられています。日常の危機管理の在り方、差異が「いのち」の分かれ目になった現実に、私たちは謙虚に受け止め生かす責務

があります。

東日本大震災から1年を迎えようとしている今日、地震、津波、加えて原発事故という三重被害、死亡1万5,844人、行方不明3,394人（1月13日現在）、避難者33万4,786人（昨年12月15日現在）。数字で語れない一人ひとりの生活、人生、物語があります。失ったかけがえのないいのち、元の生活に戻れない避難者の現実には胸の痛むもので忘れてはならない。政治に携わる者として、とりわけ日常、現場に身を置く地方議会、議員の立ち振る舞いが試されています。

急がれる防災計画の見直し

各メディア、大学、民間シンクタンクなどから東方、房総沖地震について取り上げられています。東北に大津波をもたらした1896年の明治三陸地震マグニチュード8.2、1933年の昭和三陸地震M8.1にそれぞれ似たタイプの巨大地震が今後発生するとすれば「北緯37

一次は房総沖と警鐘

度以南の茨城－房総半島沖」の可能性があると解析結果を建築研究所の古川研究専門役（地震学）がまとめられた。（日経2011／6／7）

地震発生確率

評価結果

地震名	30年以内確率	規模
宮城県沖	99%	M7.5前後
福島県沖	7%程度以下	M7.4前後
茨城県沖（房総沖）	90%程度以上	M6.2～7.2
東海	87%	M8.0程度
東南海	70%程度	M8.1前後
南海	60%程度	M8.4前後
北海道以西	0.006～0.1%	M7.8程度

「政府地震調査研究推進本部」資料より

私たちが生活している千葉、房総半島は、南に浜岡原発、北に東海原発、相模原に米国の原潜、県内には劣化ウランなどの核燃料物質を使用する研究施設や工場が8市10施設が点在し、「避難基準が定められていない。定

められているのは袖ヶ浦市、未基準は千葉、市川、茂原、市原、我孫子、白井、山武の7市（読売1/15）。危険と隣り合わせの地域であり、抜本的な防災見直しが求められています。

東金市の被害状況と急がれる未整備事業

東日本大震災による市内の被害状況（5/3現在）

<p>●住宅被害</p> <p>全壊 4棟</p> <p>半壊 4棟</p> <p>一部半壊 100棟</p> <p>計 108棟</p>	<p>●道路被害</p> <p>盛り上がり</p> <p>段差、陥没</p> <p>沈下、舗装破断、</p> <p>路肩沈下</p> <p>側溝沈下</p> <p>計 41件</p>	<p>●河川被害</p> <p>柵築崩壊</p> <p>計 5件</p> <p>●用排水路被害</p> <p>柵築崩壊</p> <p>計 10件</p>	<p>●下水被害</p> <p>水道管漏水</p> <p>破断</p> <p>計 5件</p> <p>●教育施設被害</p> <p>天井板、渡り廊下</p> <p>ガラスなど破損</p> <p>計 11件</p>
---	---	--	--

急がれる未整備事業への事業の具体化

東金市において震度6強程度の地震が発生した場合に被害が大であろうと推定される未整備事業

＝約230億円程度を見込まれる未整備事業（国、県補助は除く）＝

●教育関係施設 71億円

学校施設 立て替え、撤去工事

- ・東金中… 18億円 ・源 小…8.5億円 ・豊成小… 12億円
- ・鴛嶺小… 12億円 ・丘山小…8.5億円 ・福岡小… 12億円

●一般公共施設 36億円

立て替え撤去工事

- ・市庁舎…22億円 ・図書館… 6 億円 ・中央公民館… 8 億円

●その他

- ・道路関係復旧費用…20億円
道路関係（10億円） 急傾斜地（5億円） 橋梁（5億円）
- ・ガス関係（6.5億円）
- ・下水道（90億円）

避難者（福島、宮城）への住宅供給 63世帯139名

東日本大震災以降、東金には、福島、宮城両県から63世帯、139名が避難されてきています。当初、20戸を市として借り上げ無料で提供する事業を予算化し、補正を4月、9月まで延長してきました。一方、国（厚労省）は賃貸住宅借り上げを「応急仮設住宅」（従来の仮設住宅と見なす）として取り扱いを通知（4/30）。県は家賃1カ月

避難元市町村別避難者数

県名	市町村名	世帯数	人数
福島県	南相馬市	21	60
福島県	相馬市	3	6
福島県	双葉郡浪江町	28	52
福島県	双葉郡大熊町	4	9
福島県	双葉郡富岡町	2	2
福島県	双葉郡双葉町	3	6
福島県	双葉郡広野町	1	2
宮城県	石巻市	1	2
計		63	139

7万円、1世帯5名以上は10万円を上限とし、期限2年を限度とした要綱をまとめ（6/30）、

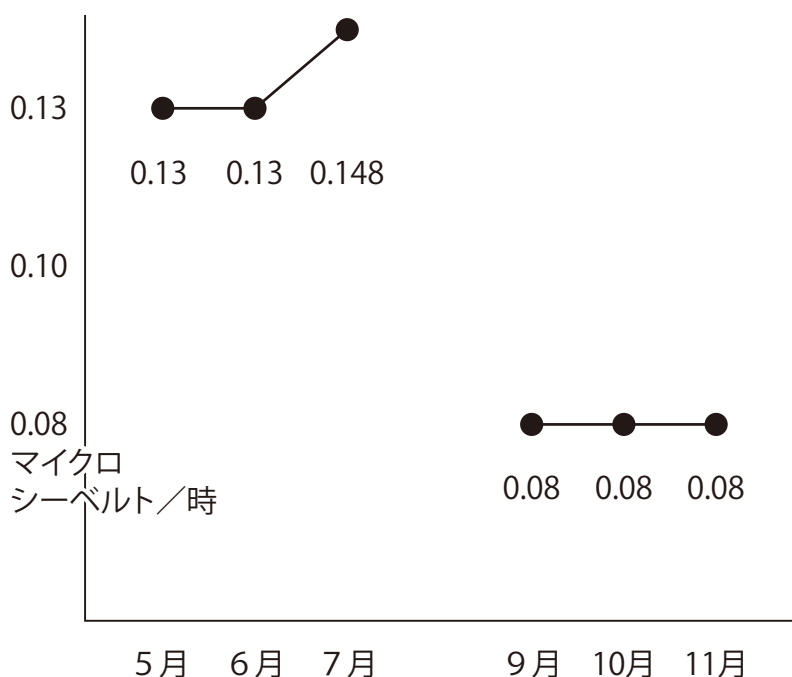
東金市もその要綱に基づいて実施し、63世帯139名の方に無償で提供しています。

福島原発…放射能汚染

東日本大震災、地震と津波に襲われ、福島第一原子力発電所は、電源を失い、原子炉建物内で爆発し、大量の放射線が噴出した。私たちの住んでいる東金市にも放射能の汚染が広がり、被害が出ています。いまだに原発事故の収束が見えず、不安が広がっています。夏にプールに入らない子供達。給食の食材の問い合わせ等が報告されています。放射能許容量は「年1ミリシーベルト」を標準とされ、国際放射線防護委員会（ICRP）、文部科学省等がそれです。東金市は、教育施設、公園等30カ所において放射線量測定（5月31日）を公表した。年1ミリシーベルトを24時間365

日マイクロシーベルトに換算数値0.11マイクロシーベルトをこえたのが29カ所であり、福島県内の会津若松（0.16）に匹敵し、市原市の0.044とは1桁上の数値がでています。下水道処理施設の汚染は下水道法により、セメントや肥料に再利用され、当市もセメント工場に出していたが放射能物質が検出され、一時搬入を拒否されていましたが、今は、受け入れられています。乳牛の県産（東金市含む）牧草の給与、及び放牧の自粛も今は解除されています。しかし、これらの情報はあまり公になっていないのが現状です。

東金市内放射線測定結果（市内平均値）



*** ガイガーカウンター**
（簡易）ベータ、ガンマーもひろう
5, 6, 7月に使用

*** シンチレーション式**
主にガンマーをひろう
9, 10, 11月に使用